

国際センター「土木技術者の国際化実践小委員会」の委員公募

2022年度会長プロジェクト「土木グローバル化総合委員会」の下で活動してきた「土木技術者の国際化実践小委員会」が、今年度から国際センターに場を移し、活動を継続することになりました。この機に、活動をさらに拡大、充実する目的で、昨年度からの継続メンバーに加えて新たなメンバーを増員するために、本小委員会にご参加いただける方を公募します。奮ってご参加ください。

本小委員会の目的および内容は以下の通りです。

1. 小委員会

- ・国際センター「土木技術者の国際化実践小委員会」※

※ 昨年度までの活動内容は、下記 HP をご参照ください。

小委員会 HP : https://committees.jsce.or.jp/2022_Presidential_Project02/

2. 背景と目的

近年、土木学会ではグローバル化を重視し、様々な取組を推進している。それらの活動の一環として本小委員会では、現状における課題整理や提言に留まらず、実際にグローバルに活躍できる土木技術者を育成することを目的に、国内外の関係者や関連業界との交流や海外調査等の実践的な活動を進めてきた。これらの活動を継続、発展させることで、より多くのグローバル人材の育成を支援することを目的とする。

3. 対象者

以下のいずれかとし、土木学会の会員・非会員は問わず、インフラ海外展開に関連する土木以外の業界（建築、法務、ファイナンス、製造、サービス等）も含む。とくに今後の実践的展開を期待する若手、ダイバーシティ（国籍、性別）を重視しますが、その限りではございません。

(1) 自己実践型 : 10名程度

インフラ海外展開に関心を有し将来のグローバル展開を担う産官学の方々。今後のグローバル展開を志す比較的若い世代であり、各自が関心を持つ海外プロジェクトやそのあり方を検討テーマ（参考資料を参照）として持ち、関連する当委員会内では相互に関連するいくつかのテーマに分類したWGに属して活動できる方。国籍は問いません。学生の方の参加も歓迎します。

(2) 育成支援型 : 5名程度

インフラ海外展開に関心を有する産官学の方々。比較的国際経験等の豊富な経験を有し、WG活動を支援しつつ、土木学会内外との連携を図れる方。

4. 開催方法

- ・ 小委員会は概ね1回/月の頻度で開催する予定。開催形式は土木学会での会議（集合形式）を基本とする。ただし、遠方からの参加等に配慮してWeb会議も補足的に併用する。
- ・ WG活動は、活動内容や状況に応じて開催する。開催形式は各WGにて決定する。

5. 活動期間

- ・ 令和5年10月～令和6年9月※

※ 当面は活動期間を1年間とするが、今後の活動内容を踏まえて第2期以降を継続することもある。その場合、委員は再募集し、継続参加も可能とする。

6. 費用負担

- ・ 自己負担

※ 委員会への参加、セミナーや海外視察等のイベントへの参加も自己負担とします。

7. 応募方法

- ・ ①氏名、②所属、③連絡先（E-mail及び電話）、④特に興味のあるテーマを自由書式にて記載の上、下記の応募先までE-mailにて連絡して下さい。その際、件名は「土木技術者の国際化実践小委員会への参加応募」とご記入下さい。
- ・ 期限 : 2023年10月15日（日）

8. 問合せ・応募先

- ・ 小委員長 : 小沼恵太郎 (mail: keitarou.konuma@tk.pacific.co.jp、tel: 090-7203-0998)

パシフィックコンサルタンツ株式会社 シニアテクニカルディレクター

以上

(参考) 検討対象として想定されるテーマの例

以下は、現時点で当小委員会が想定する検討テーマの一例です。これらのうち、各自が関心のあるテーマのWGに参加し、メンバーと共同で活動いただきます。また、以下に無いテーマでも応募者からの自主的な提案を歓迎しますので、応募時にご記入下さい。

(1) 橋梁の建設及び維持管理に関するグローバル化

※ 昨年度の活動のうち「長大橋 WG」と「インフラメンテナンス WG」を発展的融合したテーマ

- ・ IABSE(国際構造工学会)「Manchester 2024 年大会」への海外調査団の派遣
- ・ 上記海外調査団の企画及び参加
- ・ 上記海外調査に資する橋梁の建設及び維持管理に関する国際動向の調査
- ・ 上記に関するセミナー等のイベントの企画及び主催 他

(2) 今後のグローバル化で取り組むべき技術

※ 応募者が関心を有するテーマを新たに提案していただき、主体的に取り組むテーマ

- ・ ICT :DX、スマートシティ
- ・ 環境・防災 :森林保全、ダム再生、気候変動対策、グリーンインフラ
- ・ エネルギー・カーボンニュートラル :再生可能エネルギー、MaaS 他

(3) 今後のプロジェクト創成のために取り組むべき課題や視点

※ 技術に限らず、新たな制度や周辺分野(建築、法務、金融等)も取り込んだ視点でのテーマ

- ・ 土木と建築の融合 ・ NGO 活動としてのインフラ整備プロジェクト
- ・ 他国の海外展開状況(欧米、中韓) ・ アフリカ、中南米における海外展開 他

(4) 土木学会の海外分会との交流

※ 海外分会との交流を活かしたネットワーキング

- ・ 英国分会 :現地で活躍する日本人技術者及び研究者との交流
- ・ インドネシア分会 :日本留学経験のある現地大学教員を核とした二国間の技術者交流
- ・ 台湾分会 :日本留学経験のある現地大学教員を核とした現地企業や現地学生との交流 他

以上